

26 倉 庫

【関連章第7章8】

事例 「倉庫内の低圧進相コンデンサから出火した火災」

出火時分 6月 13時ごろ
用途等 倉庫 耐火造5/0 延100㎡
防火管理 非該当
被害状況 建物ぼや1棟 低圧進相コンデンサ1焼損
概 要

この火災は、倉庫の機械室から出火したものです。

出火原因は、50年間印加された状態で低圧進相コンデンサを使用し続けた結果、低圧進相コンデンサ内の絶縁劣化により発熱し、出火したものです。

従業員が倉庫で荷物を整理中、倉庫奥の機械室周辺から白煙が漂っているのを発見し、近づくくと、機械室の扉から白煙が出ているのを発見しました。その後、事務所へ戻り別の従業員に火災発生を伝え、会社の固定電話から119番通報をしています。火災を知らされた従業員は、機械室内壁に設置された操作盤内の操作スイッチとブレーカをそれぞれ「切」にして初期消火を実施しました。

教訓等

低圧進相コンデンサは一般的な電気機器と違い、低圧進相コンデンサ自体が動かなくなるなどの症状がみられないため、劣化や故障の兆候が見分けづらいものです。

また、回路上の機器を使用していなくてもメインブレーカを切断しない限り電圧が常時印加されていることから、いつ出火するかわからず、休業日や夜間、早朝などに発生した場合、人命危険、延焼拡大危険があります。10年以上の長期間使用している低圧進相コンデンサは、定期的な点検の実施と計画的な更新を行っていくことが重要です。



写真 26-1 倉庫内の状況



写真 26-2 操作盤の状況



写真 26-3 進相コンデンサの焼損状況